**第107回　医学部疫学・臨床研究等倫理委員会議事要旨**

開催日時　平成26年7月2日(水)10:00-12:10

場　　所　医歯学総合研究科棟１（歯学系）３階会議室

出席委員　6名

欠席委員　2名

　委員長から開会の挨拶があった後、議事が開始された。

**議題１．倫理審査**

【新規申請】

1. 受付番号286号

申請者：米　和徳 (保健学科　理学療法学講座　教授)

研究課題：変形性股関節症患者の人工股関節全置換術前後の運動機能における筋骨格コンピュータモデルを応用した生体力学的評価

　・・・・・・・・・審議の結果、本委員会での審議結果は保留とし、病院臨床研究倫理委員会の審議結果に一任

②受付番号287号

申請者：井上　尚美 (保健学科　母性・小児看護学講座　講師)

研究課題：離島で自立した援助活動が行える助産師養成のための教育プログラムの開発-離島で活動する助産師に必要な能力-

　・・・・・・・・・・・・修正後、最終判定は委員長一任

③受付番号288号

申請者：井上　尚美 (保健学科　母性・小児看護学講座　講師)

研究課題：助産実践能力習熟を目指した中堅助産師研修プログラムの検証

　・・・・・・・・・・・・修正後、最終判定は委員長一任

④受付番号289号

申請者：八代　利香 (保健学科　総合基礎看護学　教授)

研究課題：介護職ケアマネージャーと訪問看護導入に関する研究

　・・・・・・・・・・・・修正後、持ち回り審査

**議題２．報告**

①有害事象について

　委員長から、平成26年4月に起こった本委員会承認課題（受付番号：271）の有害事象について報告があった。

　　今後、本委員会承認課題の実施状況については報告書のみならず、定期的な監査を実

施していく必要があるとの意見があった。

**議題３．その他**

　①卒業研究の在り方について

　　委員長から、保健学科のカリキュラム「卒業研究」の在り方について意見交換いただきたい旨の依頼があり、先に開催された国立大学保健医療学系代表者協議会の資料抜粋（参考資料）に基づき全国大学の実施状況が説明され、次のような意見があった。

本意見交換を踏まえ、保健学科内関係会議で検討を進めることとなった。

　・１年という期間であるため、倫理審査に諮るような研究は控えているのが現状。

　・大学院への進学率にも影響を与えているのではないか。

　・講座等によっては研究の計画を立案することまでを目的として取り扱っている。

　・研究開始後の賠償保険等を勘案しても介入を伴う研究は実質難しいのではないか。

・学生が自主的に研究を希望し、かつ指導教員等が申請をするということであれば本

委員会で審査していくことは可能ではないか。

②持ち回り審査の結果

　（第105回開催3月13日承認）

・受付番号279号：原子力発電所立地県における保健師の放射線に関するｱﾝｹｰﾄ調査

　　　　　　　　　～新潟県、福井県、鹿児島県の保健師活動の実態と課題～

保健学科　医学部保健学科総合基礎看護学講座　教授　松成　裕子

　（第106回開催3月31日承認）

・受付番号280号：離島で働く助産師のやりがいと困難

保健学科　医学部保健学科母性・小児看護学講座　准教授　下敷領　須美子

・受付番号281号：びわ茶摂取が健康増進・維持に及ぼす影響

保健学科　医学部保健学科臨床看護学講座　教授　新地　洋之

・受付番号282号：心の病いを有する人にとって地域における居場所を獲得することの意味の分析

保健学科　医学部保健学科臨床看護学講座　教授　堤　由美子

・受付番号283号：日常生活活動における利き足・支持足の関係についての研究

保健学科　医学部保健学科臨床理学療法学講座　教授　吉元　洋一

・受付番号284号：加温が運動機能に及ぼす影響について

保健学科　医学部保健学科臨床理学療法学講座　准教授　大重　匡

・受付番号285号：バーチャルリアリティ訓練の心身機能向上効果

保健学科　医学部保健学科臨床理学療法学講座　准教授　福留　清博

③その他

委員より、現在倫理指針の統合が厚労省等で検討されており、本委員会としても対応していく必要があるとコメントがあり、公表されている検討資料等を委員へ配布することとなった。

最後に、前回の議事要旨を確認し、承認とした。

以　上